



これからの道德教育に寄せて

「特別の教科 道德」の授業づくり

プロジェクト研究 「考え、議論する道德」の実現に向けて

道德科の全面実施(小学校平成30年度、中学校平成31年度)に向けて、教育センターでは、平成27・28年度に「よりよく生きるための基盤となる道德性を養う道德科の在り方『考え、議論する』学習を通して」を研究主題としてプロジェクト研究に取り組みました。

道德科の特質を生かした授業を行う上で、各教科等と同様に問題解決的な学習を有効に活用することが重要であるといわれています。そこで本研究では、問題解決的な学習における発問の設定について研究しました。具体的には、授業展開を「自己を見つめる段階」、「自己の考えを広げ、深める段階」、「これからの自己を考える段階」と設定し、段階ごとに「書く活動」と「話し合い」を位置付けることで、自己(人間として)の生き方を主体的に判断する児童生徒の育成を目指す授業を提案しました。

また、道德科の評価の進め方を研究し、道德的価値に対する児童生徒の意識の変容を長期的なスパン(学期ごと)と短期的なスパン(1時間ごと)の両面から見取りました。道德アンケートやワークシート、道德ノート等、日常の指導や個別指導に生かせるような評価を提案しました。2年間で小・中学校各6本、計12本の授業実践を行い、教育センターWebに研究成果を掲載しています。

ぜひ、ご覧ください。

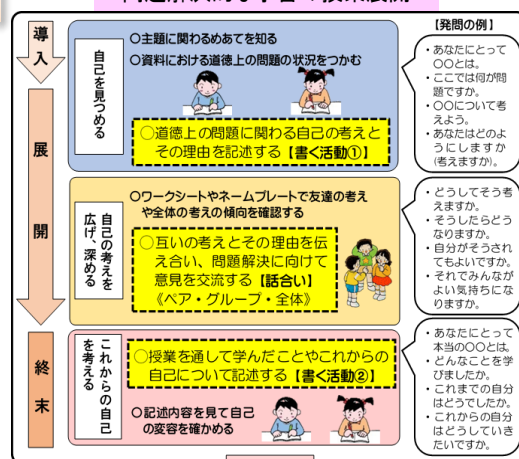
道德の授業実践は左記QRコード、もしくはこちらへ → http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/index.htm



このページの記事についての問い合わせ先

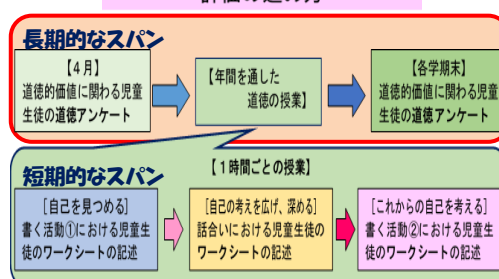
研究調査担当0952-62-5214(直通)

問題解決的な学習の授業展開



自己(人間として)の生き方を主体的に判断する児童生徒

評価の進め方



研修講座

小学校道德Ⅱ講座(10/12)「道德科における問題解決的な学習の工夫」から

道德科の全面実施を次年度に控え、「今後どのような授業づくりをすればよいのか知りたい」という思いを持った多くの先生方が受講されました。午前、春日北小学校6年1組で「ここを走れば」という教材を用い、問題解決的な学習の授業展開に沿った提案授業を行いました。その後の授業研究会では、ねらいに迫る発問の工夫等について、活発に意見交換が行われました。午後は、上記のプロジェクト研究に携わられた先生から、これまでの実践を基にした具体的な手立てを紹介してもらいました。受講者の先生方から「すぐに実践してみたい!」という声が多く聞かれました。授業展開案の作成と検討では、各自で作成した展開案において工夫した点を出し合うことで、新たな視点に気付く等、教材自体を多面的・多角的に捉えることができました。

本授業の学習指導案や資料等は、後日、教育センターWeb 講座授業事例集にアップする予定です。



このページの記事についての問い合わせ先

短期研修担当 0952-62-5212(直通)

高校の先生方を対象として、教科の理解を更に深めることができる講座を開催しています。今年度、開催した講座の中から、数学科の講座を紹介します。



高校数学科Ⅰ講座（数学的に考察し表現する力の育成を目指した授業づくり）

センター所員による講義では、学習内容を生活に関連付けて生徒に目的意識を持たせる例としてローン返済のモデルを紹介し、主体的に学習活動に取り組ませることの大切さについて考えてもらいました。続いてスーパーティーチャーの講義では、「発問において定義や数学用語を正確に言えるか確認する」、「テストの採点時に解答の良くないところを添削して返却する」、「誤答に至った原因を考えさせる」といった実践例を紹介していただきました。演習、協議の時間は「場合分けの指導方法」について全員で話し合い、アイディアを共有しました。（7/6 実施 半日講座）

高校数学科Ⅱ講座（生徒が数学のよさを実感できる「整数の性質」の授業づくり）

覆面算の例

午前は、センター所員による講義と模擬授業を行い、受講の先生方に覆面算、部屋割り論法（鳩の巣原理）、油分け算の問題を解いてもらうことで、生徒たちに楽しく思索する数学のよさを感じさせることの大切さを体験してもらいました。午後は、熊本大学教授の宮崎誓先生に、整数の分野で授業に活用できる内容についての講義と繁分数や複素数平面へ応用する題材など生徒の関心を引きそうな題材の提供をしていただきました。受講の先生方は、提供された題材をもとに授業展開案を考え、協議することで、それらの題材の生かし方についても深く学ぶ時間となりました。（8/8 実施 1日講座）

$$\begin{array}{r} \text{て} \text{ぶ} \text{く} \text{ろ} \\ \times \quad 9 \\ \hline \text{ろ} \text{く} \text{ぶ} \text{て} \end{array}$$

高校数学科Ⅲ講座（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指して）

センター所員による講義では、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の意義について理解してもらい、今後の授業づくりについての指針を持ってもらいました。続いて、講師の先生に、ご自身の授業改善の先行事例を紹介してもらいました。課題に興味を持って取り組ませ、対話をしながら数学的な見方や考え方のよさに生徒自身が気付くような授業づくりをすること、生徒の様子を見ながら授業をつくっていくことが大切だと話されました。さらに、ピアインストラクション（生徒に選択肢から投票させ議論させる）を活用した授業づくりの一例も紹介されました。受講された先生方から、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善策として大変参考になったという感想を頂きました。（9/22 実施 半日講座）

高校の学習指導要領は、来年に改訂が予定されています。そこで、次年度の研修講座では、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて学んでもらえるような内容を現在計画中です。多くの先生方が参加されることを心よりお待ちしております。

12月のサタセン

12月に実施される「サタセン」（土曜日に教育センターで行う自主参加の研修会）の概要をご紹介します。

申込み方法等の詳細な内容は、各「サタセン」の各担当者から学校に案内する予定です。各自で直接お申込みください。（管理職の方を通しての申込みではありません）

校種・教科等	期日	時間	テーマ・内容等	担当者・連絡先
中学校英語科	12/2	14:00～16:00	単元で考える楽しい授業づくり	金丸 大樹・佐藤 香代 Tel.0952-62-5214(金丸)
高校化学科	12/2	14:00～16:00	定番および新しい化学実験の紹介、事例発表	細園 真紀 Tel.0952-62-5213(細園)
生徒指導 特別支援教育	12/9	10:00～12:00	どうしたらいいの？障害のある子供への対応 特別支援教育のお悩み相談会	伊東 一義・水野 留美子・田代 いづみ・ 江頭 満江・手塚 芳美 Tel.0952-62-5211(伊東)
小学校外国語活動	12/9	10:00～12:00	「教科化を目前にして今、知りたいこと」 佐賀大学准教授 林 裕子先生	岩永 亜希 Tel.0952-62-5212(岩永)
小学校国語科	12/16	9:30～12:00	実践発表 東脊振小 山内ともこ先生 講義 佐賀大学教授 達富 洋二先生	小旗 浩徳・橋本 亜紀 Tel.0952-62-3554(小旗)
中学校国語科	12/16	14:00～16:30	「主体的・対話的で深い学びをめざした授業改善」講師 佐賀大学教授 達富 洋二先生	岩瀬 弘憲・堤 直子 Tel.0952-62-5212(岩瀬)
中学校数学科	12/16	14:00～16:00	“中学校数学科の指導についてのQ&A” 佐賀大学名誉教授西見央先生にも参加していただきます。主に「資料の活用」の領域について一緒に学びませんか。「箱ひげ図」も扱う予定です！	江口 賢一・三浦 和輝 Tel.0952-62-5212(江口)
小・中学校音楽科	12/16	14:00～16:30	「山ちゃんとボディーパーカッションを楽しもう」講師 九州女子短期大学特任教授 山田俊之先生	副島 和久・坂本 康子・香月 博子 Tel.0952-62-5214(坂本)
小・中・高理科	12/16	14:00～16:00	小・中・高理科教師のための交流研修会「顕微鏡観察について」 (12/2で案内していた高校生物のサタセンはこの研修会と合同開催します。)	高取 照秋 Tel.0952-62-5213(高取)